

連載「道産木材データベース」

林産試験場では、樹木の生態・形態、木材の性質・用途および関連の文献情報等を樹種ごとに取りまとめたデータベースを制作中ですが、ホームページへの公開を前に、記事部分を順次本誌で紹介しています。
(担当：企画指導部普及課)

ハンノキ類（カバノキ科ハンノキ属）

名称 和名：ハンノキ
別名：ハン（榛）、ヤチハンノキ（谷地榛の木）、赤楊
アイヌ語名：ニタツケネ nitat-kene（湿地・ハンノキ）など
漢字表記：榛の木
英名：Japanese alder
学名 *Alnus japonica* (Thunb.) Steud.
分布 北海道、本州、四国、九州、沖縄、台湾、朝鮮半島、中国、ウスリー



湿地のハンノキ林

名称 和名：ケヤマハンノキ
別名：ヤマハン（山榛）
アイヌ語名：ケネ ke-ne (kem-ni：血の木から転訛) など。樹皮を煎じてできる赤い液を薬としたことから
漢字表記：毛山榛の木
学名 *Alnus hirsuta* Turcz.
分布 北海道、本州、四国、九州、サハリン、朝鮮半島、東シベリア、カムチャッカ

名称 和名：ミヤマハンノキ
アイヌ語名：カムイケネ kamuy-kene（神のハンノキ）など
漢字表記：深山榛の木
学名 *Alnus crispa* (Aiton) Pursh subsp. *maximowiczii* (Call.) Hult.
分布 北海道、本州（大山、白山以北）、千島、サハリン、朝鮮半島、ウスリー、カムチャッカ



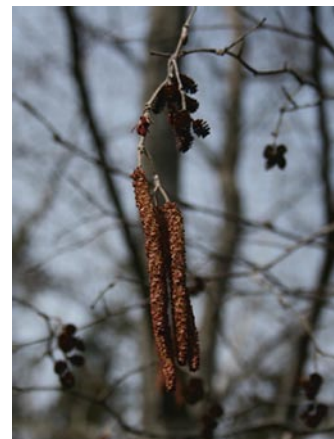
河畔のケヤマハンノキ林

生態・形態 ハンノキは湿気の多い低地、湿地に生える落葉高木で、高さ 20m 直径 60cm に達する。樹皮は暗灰褐色で、浅い割れ目ができてはげる。葉は、卵状長楕円形で先がとがり低い不整な鋸歯がある。基部は広くさび形、長さ 5～13cm、幅 2～5.5cm で上面はやや光沢がある。

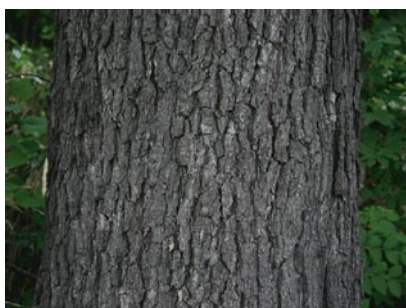
ケヤマハンノキは山野、溪畔に広く生える落葉高木で、高さ 20m、直径 60cm に達する。樹皮はやや紫褐色を帯び、平滑、横長で灰色をした皮目が目立つ。葉は広卵形～広楕円形で鈍頭、浅い欠刻状の重鋸歯がある。基部は切形またはやや円形、長さ 6～14cm、幅 4～12cm。

ともに花は道内では雪解け時期に葉に先だって咲き（ハンノキは暖地で 11 月に咲く）、雄花序は枝の先端につき、開花時に長く下垂し 7cm ほどになる。雌花序は雄花序の直下につき、果時には毬果状になり秋に暗褐色に熟す。

ミヤマハンノキは亜高山や高山に生える落葉低木。高さは 10m ほどに達することがある。樹皮は暗褐色で割れ目はない。葉は広卵形から卵円形、長さ 5～10cm、幅 4～9cm、先はややとがり先が針状にとがる細かい重鋸歯がある。基部は円または浅い心形で上面はやや光沢があり粘り気がある。雄花序は新葉の開芽と同時に下垂して開き、長さ 4～5cm。雌花序はその下の葉腋から出た新芽の先に数個つく。



ケヤマハンノキ花
下垂した雄花の上に小さな雌花が見える。上部は前年の実



ハンノキ樹皮



ケヤマハンノキ樹皮



ミヤマハンノキ樹皮



ハンノキ葉



ケヤマハンノキ葉



ミヤマハンノキ葉

木材の性質 散孔材でやや重硬。辺材は淡黄褐色、心材は灰褐色だが辺心材の境界はきわめて不明瞭。年輪はやや明瞭。肌目は精。広放射組織が著しい。伐採後の新しい材面が空気に触れると橙色を帯びてくる。



ケヤマハンノキ木口の変化
(左：切断直後、右：切断30分後)



ハンノキ木口面



ハンノキ板目面



ハンノキ柱目面

主な用途 ハンノキ、ケヤマハンノキの用途はほぼ同じで器具材，建築材，土木材，パルプ，パーティクルボードなど。昭和 10 年頃コーリン鉛筆が鉛筆材としての用途を開発したとされる。かつては割り箸，下駄にも使われた。特殊用途として精製された炭が黒色火薬の原料となり，樹皮はタンニンの原料となる。ハンノキ類は根粒菌を持ち，特にケヤマハンノキは痩せ地でもよく成長するため公園・街路樹や砂防・治山緑化樹とされる。

ミヤマハンノキは木材としての利用はほばない。

物理的性質（ハンノキ）

気乾比重	0.53
平均収縮率	0.30 %（接線方向） 0.12 %（放射方向）

機械的性質（ハンノキ）

曲げヤング係数	115 tf/cm ²	圧縮強さ	450 kgf/cm ²
曲げ強さ	850 kgf/cm ²	せん断強さ	150 kgf/cm ²

加工的性質（ハンノキ）

人工乾燥の難易	やや困難	割裂性	小
切削その他の加工性	中庸	表面仕上	中庸
保存性	中庸		

※木材の性質それぞれの意味については，連載 1 回目の 2007 年 12 月号で説明しています。

引用（木材の性質に関する数値等）

・日本の木材：（社）日本木材加工技術協会 1989

参考

・原色日本植物図鑑 木本編【II】：北村四郎・村田源 保育社 1979

・日本の野生植物 木本 I：佐竹義輔ら 平凡社 1989

・図説樹木学－落葉広葉樹編－：矢頭献一・岩田利治 朝倉書店 1966

・木の事典第 1 集第 4 巻：平井信二 かなえ書房 1980

・知里真志保著作集 別巻 I 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編：知里真志保 平凡社 1976

（文責：企画指導部 新田紀敏）